

**WTAC ~タイムアタック世界最速決定戦~ 完全収録!!**

[OPTION2 10月号] 2012年9月11日発売(毎月1回11日発売) 第21巻第10号 通巻272号 1982年6月2日 第3種郵便物認可



**IDC** インターナショナル  
ドリフトチャレンジ **2012**  
**D&S NIGHT** 国内最大の  
ナイタードラッグフェス

**特別付録  
DVD**

**必見!!** 世界最速工ボの  
インカムムービー!!

プロショップ発

**RB**  
エンジン  
徹底ガイド

**RB20・25・26・30**



タイムアタックの怪物現る!!

**WTAC**

ワールド・タイムアタック・チャレンジ

日本の**6**チームが  
プライドを賭けて挑む  
チューニングカー  
世界最速決定戦

Other  
Contents

- ★DIYでボディのクラックを補修 [OPT2オータのシルビア補修日記]
- ★年に一度のナイタードラッグレースは大賑わい!! [D&Sナイト2012]
- ★チームオレンジがドリフト世界制覇 [IDC/インターナショナル・ドリフトチャレンジ]

豪華150分オーバーの超大作!!

DVD VIDEO 16:9 WIDESCREEN DOLBY DIGITAL NOT FOR SALE

SDO2-1210

Pressed in TAIWAN

**大特集!!**

**歴代スカイライン**

**SCOOP!?**  
驚異のタイムアタック仕様  
最速86メイキング

走り屋GALお宅訪問・特別編  
[48人イッキ越せ!!]

東日本・西日本  
REミーティング

大盛況!!  
OPT2耐久2012

**10**

オプション2  
OCT.2012  
880yen

DVD付き





**HLS30  
FAIRLADY Z**  
MADE BY ROCKY AUTO  
☎0564-58-7080 http://www.rockyauto.co.jp



**GC10 SKYLINE**  
MADE BY ROCKY AUTO  
☎0564-58-7080 http://www.rockyauto.co.jp



載する両車(サンマルは輸出仕様の為L24が元のエンジン)からL24、L26、L28など排気量が多い上位モデルエンジンへの換装、そしてさらにL28をベースに排気量をアップした3.0、3.1L化など、超定番化されたチューニングは、今でも盛んに行われている。そして、これらのチューニングを経験したオーナーは口を揃えて「排気量をアップすることで、乗りやすさまで手に入った」といっ。

ハコスカに搭載されるのは、セルシオ等に積まれた国産V8エンジンの1UZ、排気量は3968cc。特定のステーションを極めることを目指したものでなく、ストリートを快適に走ることを目的にし、スタンダードな仕様のエンジンをマニュアルミッション化と共に積み込んだという。製作したのは、エボリューションQではおなじみ愛知県にあるロッキードオートだ。

サンマルのほうは、ドラッグレース指向のハイチューン仕様ながら、ナンバーを取得した合法車両。この車両は、アメリカで製作され、ロッキードの手を経て逆輸入され、日本に戻ってきたものだといっ。というわけで、旧車のスワップカスタムはもちろん、ドリフトマシンのメイキングなどでも注目されている、V8換装というキーワード。日本では、まだなじみを感じない読者も多いかもしれないが、トルクある大排気量エンジンのファイリングは、いちど体験するとその魅力にとりつかれてしまふもの。余裕があつて、しかも速い!! そんな車両を求めるなら、大排気量V8の換装は絶対オススメのチューニングだ。



# 蘇る旧車 名車 絶版車 エボリューションQ EVOLUTION Q

排気量アップで実現する高品質な乗り味  
V8搭載のサンマルとハコスカに迫る!!  
大排気量化によって速さと乗りやすさの両方を手に入れる!!



**GC10 SKYLINE**  
MADE BY ROCKY AUTO

このハコスカ、見た目はある意味なんの変哲もない(?)、美しくレストアされたR仕様。旧車チユーンの王道を感じさせるものでもある。

ところが、エンジン音を聞くとL型でも、RBエンジンへの換装でもない??。なんせそのエンジンルームにはセルシオ用の高級V8エンジンが搭載されているのだ。

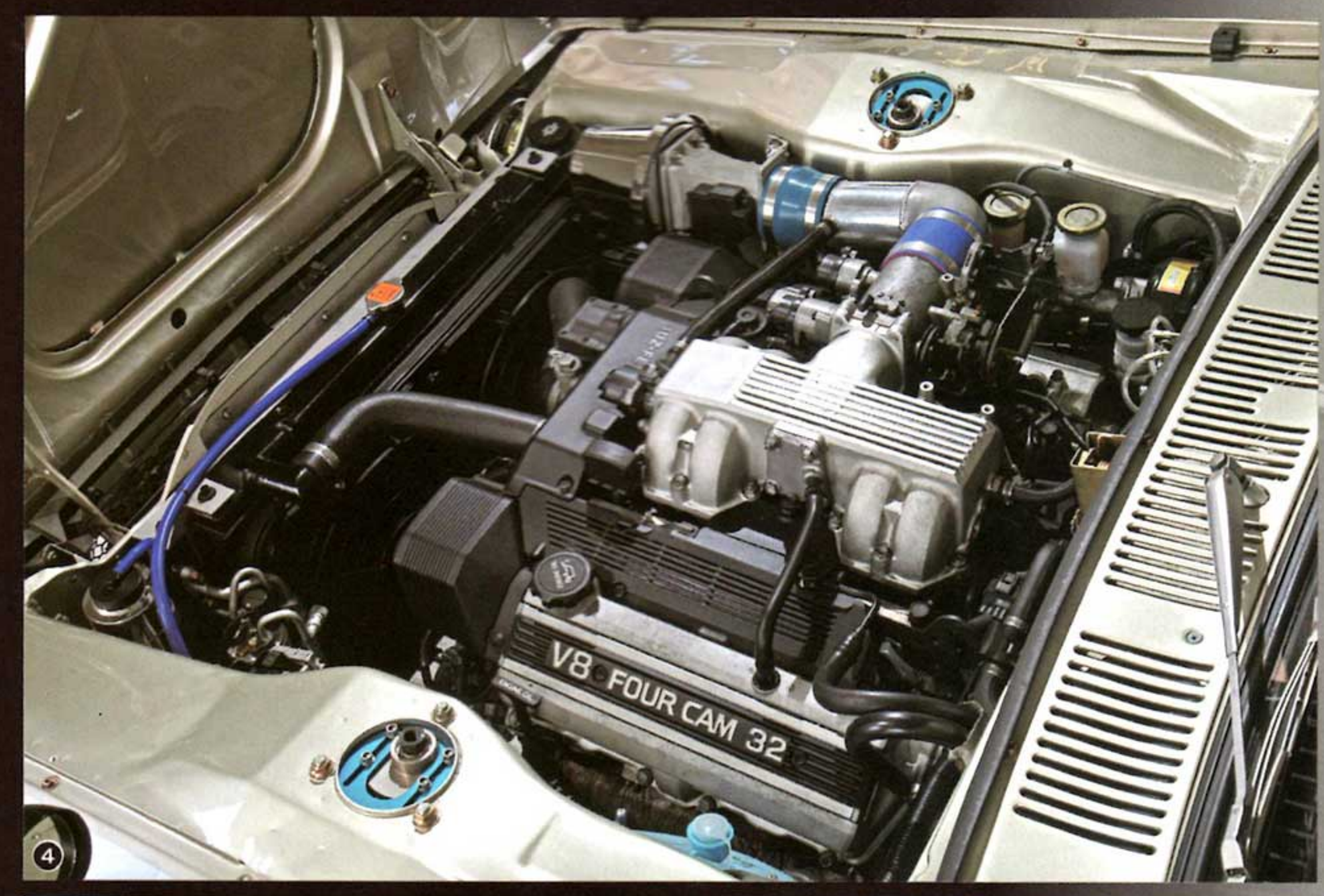
しかも、搭載にあたってはエンジンの搭載高や、前後位置にもこだわって低く、そして後方にレイアウトされている。正確な重心を計測したわけではないが、エンジン搭載位置は、フロントミッドシップといっていだろう。

このエンジン搭載位置は、非常に車両の性能を高めていて、もともとハコスカでありながら、地を這うような走行感とキレのいいコーナリング性となっている。正直言って、普通のハコスカとは次元の異なる印象だ。

コーナリング性能といえば、ボール&ナット方式をキャンセルし、ラックア



①シートはレカロのLSを左右に、また同様の生地でリヤも張り替え。統一感のあるスポーティなインテリアだ。②ステアリングシャフトはC34ローレル、コラムカバーやインカーレバーなどを見ると、ハコスカの純正ではないことが分かる。パワステも移植されたキレのいい操作感を実現。③ミッションはECR33用をベルハウジングの加工で装着。シフト位置は自然に見えるが、そう見えるために実はケンメリのセンターコンソールを使うなどのノウハウが盛り込まれている。



④エンジンはセルシオ用の1UZを換装。ECUまで合わせてのノーマル移植だが、それでも260ps、トルク36kgf-mの出力は十分な走行性能をもたらせる。⑤快適なストリート仕様を目指して製作されたため、オートエアコンも装備。構成パーツの寸法や制御の行いやすさから、エンジンがトヨタ車からの移植なのに対し、エアコンやパワステなどのドナーは日産車となっている。⑥エンジンの換装にあたっては、低く、後方へを実現させるべく配慮がされ、フロントメンバーが製作された。ステアリングもラック&ピニオン(パワステ付き)化されているという点も見逃せない。



⑦ブレーキはS14シルビアなどに採用されている日産純正4ポッドキャリパー。スタビの強化や車高調の投入、そしてラック&ピニオンのステアリングギヤボックス移植などで操安性能は大きく向上。まるでハコスカとは思えない仕上がりに。⑧ホイールは軽量、高剛性のレイスTE37V。性能やビジュアルにも拘っている。リヤのリム幅は10.5J(-16)。⑨マフラーはあえてデュアル、オーソドックスなビジュアルにもこだわって選択された。

ントピニオン化 油圧ハワーステアリングを装着したことも大きくドライバビリティを高めている。

また、滑らかにトルクフルな特性の1UZエンジンは、アクセルを軽く踏んでいだけでゲイグイと加速してくれる。マニュアルミッションでありながら、2速いや3速での発進も苦痛でないほどだし、街中では2000rpm以下からでも加速ができる。

とにかく、旧車とは思えないほどゆとりを感じさせてくれるのがV8ハコスカのフィーリングなのだ。

また、普通に見えるボディだが、レスの際にはフレームの追加なども含

め、シャシーンの強度が根本的に見直されているのは、ロッキオオートの常套手段。走行中のボディの軋みなどいささかも感じさせない。

ちなみに、元デモカーでもあるこの車両は、すでに売却されオーナーカーとなっているが、オーナーはチヨイノリからロングツーリングまでなんの不自由も感じず、普段乗りにも使えたと満足しているそうだ。

とにかく、その穏やかかつ速い乗り味は、これまでの気難しいチユーン旧車の概念を突き崩すもの。

まさに、排気量に勝るチユーン格なしの格言を実感させられる一台だ。

4e・V8エンジンのフロントミッドはダテドじやない!!  
ドライバーに大きな余裕を与えてくれる  
圧倒的なトルクとバランス改善による安定感



**HLS30 FAIRLADY Z**  
MADE BY ROCKY AUTO

アメリカ帰りの過激ストリート仕様  
アメリカカンV8が似合う  
ドラッグス・ペシヤルなターボ仕様!!



③④ドラッグ用のアメリカ製高強度オートマ。オートマチックと言っても、実際にはシフトセクターはドライバーが動かす。車両は北米モデルのため、レフトハンドーとなっている。



⑤ドラッグスペシャルらしく、フロントには165/80-15という極細タイヤと薄リムのホイール。右フロントタイヤの前に開放されているパイプはなんとマフラー。豪快な仕上げだ。  
⑥リヤタイヤはミッキートンプソンのストリートドラッグ用(ETストリートラジアル)。サイズは235/60-15、このタイヤをはいてゼロヨン12秒台を記録したという。



①②エンジンはコルベットなどに搭載されているLS1、大型のトラック用ターボによる過給で約700psを発揮するという。制御は、メガスカートというフルコン(と思われる)。詳細に関しては不明だが、作りはかなりマニアックなドラッグスペシャルとなっている。



リヤサスペンションはオリジナルのストラット方式を保っているが、各部に補強が加えられるなどされている様子。アルミ削りだしデフメンバーには、NOSMSというブランド名が刻まれていた。

アメリカから逆輸入したチューニングカーであるため、残念なことに詳細が不明だというサンマルZ。エンジンはターボチューンされたV8エンジンに換装され、約700psを出力する。先日、姉妹紙モーターヘッドが開催した福島の飛行場でのゼロヨン撮影会では、12秒台終速190kmを越す走りを確認できたという。

ハイパワーエンジンに加え、ミッションはトルコンタイプ(遊星ギヤ)の2ペダルマニュアル方式。アメリカのドラッグチューンでは、定番のものだ。

サスペンション形式はオリジナルのストラット式を踏襲しているが、ハイパワーマシンとなるとトラブルを起こしがちな、デフメンバー周辺は対策として強度アップがなされている様子だ。

ちなみに、このV8ターボ車両は、ロッキードの販売車両でもあるとのことなので、興味のある人は直接問い合わせ見て欲しい。